

きちんと知って確かな安心

ガソリン携行缶



の正しい使い方

-40℃



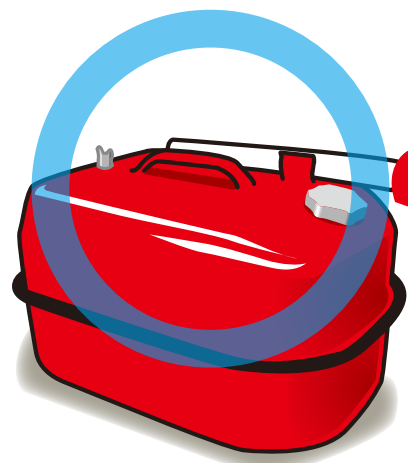
危険性について

ガソリンは気温が-40℃でも
気化し小さな火源でも引火し
爆発的に燃焼する物質です

軽油は+40℃で気化します



ポリ缶



容器について

灯油用ポリエチレンかんに
ガソリンを入れることは
非常に危険です

ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度の
ある材質を使用することと容量が制限されています



いらっしゃいませ!



セルフはだめだよ

購入について

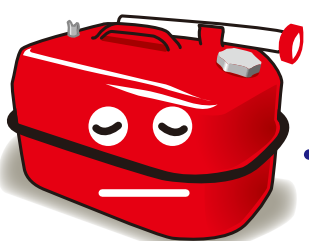
セルフスタンドでは利用者が
自らガソリンを容器に
入れることはできません

消防法令の基準に適合した容器で
ガソリンスタンドにて購入してください

保管について

ガソリンを容器に入れて保管する
ことは極力控えてください

ガソリンは、揮発性が極めて高く火災が発生すると
爆発的に広がるので保管時には注意してください



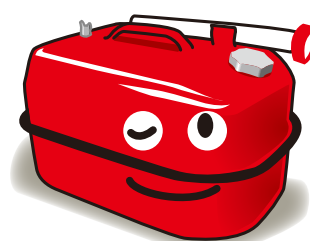
.....NNNN



取扱いについて

使用時には取扱説明書をよく読み
適正な取扱いをしてください

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等
注入口からの漏れによる
危険物の漏えい事故の報告があります



ラベルのついた確かな製品を選びましょう



これが安心の印です

「試験確認済証」



ガソリン携行缶には、使用上の
注意事項が表示されてい
ます。よく読んで安全にお使
いください。

このラベルは、消防法による容
器性能試験に合格したガソリン
携行缶に貼付されています。

※写真は試験確認済ガソリン携行缶の商品一例です。



危険物保安技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 (神谷町セントラルプレイス)

TEL. 03-3436-2353

<http://www.khk-syoubou.or.jp/>

危険物保安技術

検索

